

図 32 被覆面对流顕熱分布図(夜間)

1. 図の基本情報	
1) 図のタイトル、目的	被覆面对流顕熱分布図(22時) (目的: 対流顕熱フラックスの分布の把握)
2) 図のスケール	約 40km × 約 30km
3) 図の作成年月	2003 年 3 月
2. 図の作成手順	
1) 図の使用データ	東京都 GIS データ(1996・1997 年)
2) 図の作成手順	東京都 GIS データの建物分布及び土地利用分布から被覆面を設定し、UCSS によるシミュレーションを行って被覆面对流顕熱を算出した。
3) 図の解像度	メッシュの大きさ: 500m × 500m
4) 作成上の留意点	-
3. 図の解説等	
1) 図の見方	対流顕熱フラックスに応じた色分けにより分布を示している。
2) 図の解説	建物密集地及び幹線道路等の人工的被覆が多い場所から、比較的高い密度の対流顕熱が発生している。昼間と比較すると全体的に発生密度が低くなっている。

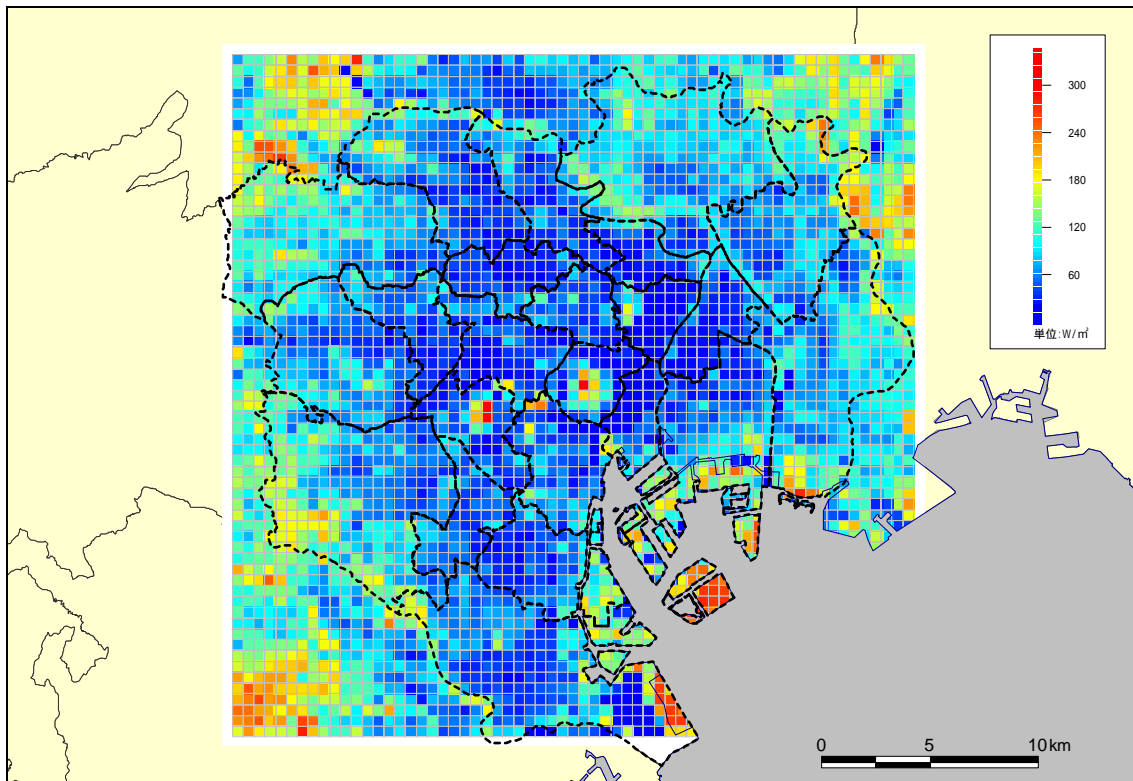


図 33 蒸発潜熱分布図

1. 図の基本情報	
1) 図のタイトル、目的	蒸発潜熱分布図 (14 時) (目的: 地表面からの蒸発潜熱の分布の把握)
2) 図のスケール	約 40km × 約 30km
3) 図の作成年月	2003 年 3 月
2. 図の作成手順	
1) 図の使用データ	東京都 GIS データ (1996・1997 年)
2) 図の作成手順	東京都 GIS データの建物分布及び土地利用分布から被覆面を設定し、UCSS によるシミュレーションを行って蒸発潜熱を算出した。
3) 図の解像度	メッシュの大きさ: 500m × 500m
4) 作成上の留意点	-
3. 図の解説等	
1) 図の見方	蒸発潜熱量に応じた色分けにより分布を示している。
2) 図の解説	都市内の大規模緑地や河川沿いのエリアから高い密度の蒸発潜熱が発生している。都心部の建物が密集しているエリアからの蒸発潜熱密度は低くなっている。